

委員会の動き

総務委員会

付託された議案五件を全会一致で可決、陳情三件は不採択、一件は継続審査と決した。

地域包括支援センター運営協議会委員について、委員は十五人であるが公募するのか、学識経験者の選定基準は、任期は、また、センターの場所はどこにするかと尋ねたところ、公募は時間的な余裕がないのでしない。学識経験者については、介護保険及び高齢者福祉等について高い知識を有する方、任期は、他の関連委員会委員と同じ二年、場所は、当面は市役所内にするとの答弁があった。

自主防災組織結成支援事業について、一年間に何カ所も結成できるか、また、県・市の対応について尋ねたところ、県は一カ所分しか補助がないので、他のところは、市の単独事業として対応するとの答弁であった。

簡易水道の料金納付書の郵送料については、中山・双海地区は、区長さんを通じて配

布していたが、個人情報保護などの問題があるので、本人あてに郵送することにしたとの答弁であった。

民生文教委員会

付託された議案八件は可決、継続審査中の陳情は趣旨採択

一件・不採択三件と決した。乳幼児・母子家庭・重度心身障害者医療費の助成に関する条例の改正について、保険適用分に関する自己負担額の変更はないとの説明に対し、障害者自立支援法の改正で障害者の負担増について尋ねたところ、低所得者には幾重もの減額措置を講じており、市独自の措置は計画していないとの答弁があった。

伊予市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例に関し、合併前から有料ごみ袋制度を実施している中山地区は条例対象外だが、今後の対応を尋ねたところ、内山衛生事務組合の施設は平成二五年に償還が終了するので、できる限り早い時期に本市制度の中で対応するのが望ましいが、今後の検討課題であるとの答弁があった。

一般会計補正予算の、小学校費の防水改修工事について尋ねたところ、郡中小は建設以降初めての改修であり、全面的な改修となる。下灘小は一度改修を行っており、部分改修の予定で、屋内の雨漏りは、防水工事の結果を待つて対応したいとの答弁があった。

製材所から発生する公害に關しては、当事者間の民事に關する問題ではあるが、陳情者の気持ち・状況を考えると、趣旨は妥当と認め全会一致で趣旨採択と決した。

産業建設委員会

付託された報告二件、議案二件は、承認・可決した。

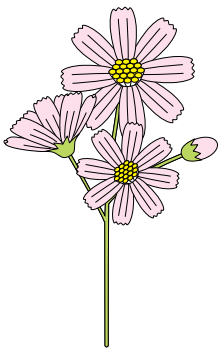
一般会計補正予算の、県営地すべり対策事業費において、伊予市で地すべり指定地区は何か所あるか尋ねたところ、伊予地区が一地区、双海地区が十一地区、中山地区が二十地区、計三十二地区あり、すべての地区で事業はしているとの答弁があった。

事業を実施する上で、国の補助事業を有効に活用し、受益者負担金を軽減するよう要望した。

公園費の大谷池堤体ガードレール設置工事は、県立自然公園内であり、最近は環境に合ったガードレールもあるが、どのようなガードレールを考えているか尋ねたところ、現在大谷池余水吐周辺に設置しているガードパイプと同色の茶系統のガードレールにしたとの答弁があった。

この工事は、市道でないのに市がなぜ施工するのかと尋ねたところ、市道ではないが、県道砥部伊予松山線と林道シダ谷線を結ぶ連絡道で市道に準じた扱いと考えている。大谷池の堤体改修時にガードレールを国・県に要望したが、堤体改修前にガードレールがなかったため、追加工事が認められず、安全上の観点から、今回市単独事業として施工したいとの答弁があった。

今後の管理について尋ねたところ、市が管理を行っていただくとの答弁があった。



編集後記

秋の夜長に虫の鳴き声がこちち良く聞こえてくる今日この頃です。

私も編集委員会では、「新しい情報をより正確に」をモットーに頑張っています。

今、日本は戦後最年少の安倍総理誕生で沸いておりますが、我が愛媛も塩崎官房長官誕生で大いに期待しています。

確かに、大変厳しい財政事情の中での船出で大変ではありますが、田舎の良さにも少しでも目を向けてもらいたいと思います。

物の豊かさ、幸せはいろいろな考え方があってのではないかと思います。

今一度素晴らしい自然、ステキな大地を、ゆつくりと歩きながら、楽しみながら、一歩ずつ踏みしめて進んでみてはいかがでしょう。

文責 久保 榮

議会だより編集委員会

- 委員長 山崎 正樹
- 副委員長 大西 誠
- 委員 青野 光
- 委員 久保 榮
- 委員 岡田 博
- 委員 日野 健
- 委員 水田 恒二